令和3年度　学校利用説明会
埼玉県立
大滝げんきプラザ

令和３年度　学校利用説明会

１　大滝げんきプラザとは

２　利用手続から退所まで

３　費用について

４　施設について

５　活動について

６　生活について

※ 新型コロナウイルス対応を講じた受入となります。

1　大滝げんきプラザについて

トップページ

【問い合わせ先】TEL：0494(55)0014　FAX：0494(55)0063e-mail：t5500141@pref.saitama.lg.jp　所在地：〒369-1901　秩父市大滝5944-2

トップページ | 施設案内 | 御利用料金等 | 主催イベント | 申請書類等 | 活動支援 | 各種資料 | 申込受付

Ⅰ　大滝げんきプラザについて

(1) 大滝げんきプラザの歴史

平成　4年7月　埼玉県立大滝グリーンスクール開所

（県立高等学校が校外における行事を行うための施設として開所）

平成15年4月　埼玉県立大滝げんきプラザへ名称変更

(2) 設置目的

広大で恵まれた自然環境のもとで、集団宿泊活動や自然体験活動等を通して、心豊かな青少年の育成と県民の生涯学習活動の振興を図る。

Ⅰ　大滝げんきプラザについて

(3)教育目標

「つくる喜び、ふれあう心」

大滝げんきプラザの自然体験活動について

※　学びのきっかけ作り・連続性をねらいとしています。

学びを深めよう

大滝げんきプラザでクラフトづくりをしたよ。

↓

たくさんの種類のどんぐりがあったな。

↓

どんぐりをつける仲間はどんな木なのかな。

↓

ブナ科の植物を調べよう。

学びを広げよう

松ぼっくりもいろいろな種類があったよ。
閉じたり開いたりするかやってみよう。

カエデの葉が多かったな。どうして黄色くなったり、赤くなったりするのか調べよう。

私が住んでいるところと違う植物があったよ。場所による違いを調べよう。

学びの展開例

大滝げんきプラザでの自然体験活動は、今後の皆様の**学びのきっかけづくり**となる場と考えています。そこで、活動計画作成の際には、事前の学びや事後の学びとの継続を考えた計画が必要です。

事前の学び	自然体験活動（大滝げんきプラザでの学び）	事後の学び
星について興味を持っている		
・学校の理科で学んだり、小川げんきプラザや名栗げんきプラザのプラネタリウムに行ったり、興味を持つ。大滝で見たいものを考える。	満天の星空の下、実際に自分んで星を見たり星座を確認したり、望遠鏡や双眼鏡で天体を観察し、実感し、学びを広げたりする。	・インターネットや資料で調べる。 ・科学館、天文台などの施設を利用する。 ・大滝スターウオッチングに参加する。
動物について興味を持っている		
・学校の理科や本などで学んだり、動物園で行ったり、興味を持つ。資料等で多少の知識を得て目的をはっきりさせる。	ハイキングをしながら、動物の生活痕の観察をする。（足あと、食痕、糞）直接出くわすこともある。	・自然の博物館や大滝ビジターセンター、動物園などの施設で詳しく調べたり、専門的な体験活動を行ったりする。
大地のつくりについて興味を持っている		
・学校の理科や本などで学んだり、地震や断層などに興味を持ったりする。 インターネットや資料等で多少の知識を得る。	大滝の自然を観察するハイクに参加し、地層や地すべり、一枚岩などを観察し、自然の雄大さ偉大さを実感する。	・博物館や科学館など施設で詳しく調べる。 ・現地に行き、観察・調査をする。

体験活動の様子

竹の皿と箸

竹とんぼ

大滝げんきプラザ教育目標
「つくる喜び・ふれあう心」

七宝焼き

草木染め

薪割り

体験活動の様子　５

間伐

枝打ち

開墾

下草刈り

こうした活動を確保し、利用者の
「ふれあい」と「喜び」を支援するために

社会教育主事として・・・

質の高い学習プログラムとするために

専門的な知識を持った職員が、ねらいをもった活動に関しての相談、事業へのアドバイスなど行い、充実した活動になるように努めます。

ぜひ、お気軽にご相談ください。

２　利用手続から退所まで

利用手続き・提出書類

（詳細は、利用ガイドブック６ページ以降参照）

（１）「①宿泊利用許可申請書」
「②活動計画書」
※**利用初日の前月１日まで**に提出を！

（２）受入の決定 →「利用許可書」を学校長宛に郵送

（３）「③食事申込書＆④屋外炊事班編成表」
「⑤⑥宿泊者名簿」（全参加者の番地まで住所を記入）
※**利用初日の一ヶ月前まで**に必ず提出を

提出は郵送、ＦＡＸ、メールが可能です。
ＦＡＸ、メールは送信後、到着確認の御連絡をください。

入所から退所まで

（詳細は、利用ガイドブック８ページ参照）

入　　所

□ 荷物の移動
□ 入所式（任意）

【施設利用の優先権】
原則13:00～翌日12:00

※ 前泊団体がある場合は、14時以降にプラザへ到着

入所時打合せ

（責任者が職員と打合せ２０分程度）

□ 日程や生活ルール等の確認
□ 参加者人数、食数、支払い方法等の確認

令和２年度より、以下４つの書類を事前にご作成していただき、入所時に事務室へ提出していただきます。

①宿泊室利用表.xlsx
②シーツ等利用申込書.xlsx
③施設使用料に係る領収書記載事項確認書類.xlsx
④食堂利用確認用紙.xlsx

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、宿直担当者と団体責任者様との受入確認の時間を短縮にご協力ください。

※ 責任者は、他の引率者や児童生徒へ生活ルール等を伝達する。
※ 打合せ担当と児童生徒の指示担当等、引率者の分担を明確にしておく。

入室 or 活動

□ 鍵を受け取り、入室もしくは活動を開始
※ 原則、入所時打合せが終了した時点で鍵を貸与

入　　室

□ 宿泊棟への入室は、**原則１３：００以降**
□ ベッドメイキング
※１階104号室隣のリネン室よりシーツ２枚、枕カバー１枚
（有料のため引率者が部屋ごとに渡し、個数を管理）

活　　動

引率者の監督のもと主体的に！「自主・自立」

□ 日程割り振り表にもとづき活動
□ 後片付け、原状復帰
□ 活動終了時に、チェックリストで施設点検
※ 連日使用する際は、最終使用時に

退　　所

□ シーツ・枕カバーを返却所へ、部屋の清掃
※持ち込んだものから出たゴミは、原則持ち帰り
□ 寝具の整頓（写真と同じようにきちんとたたむ）
□ チェックリストを用いて引率者が確認
□ 退所時に本所職員が立ち会い、部屋点検を実施
□ ９：００までに荷物を指定された場所へ移動
□ 鍵、借りた物品の返却、アンケート提出

※ 後泊団体がある場合は、13時30分までにプラザを出発

3　費用について

費　用

（1）食　費

（詳細は、利用ガイドブック44ページ参照）

【食堂での食事】・・・・・朝食：７４０円
昼食：７３０円
夕食：８４０円

【屋外炊事】カレーライス　８４０円（**他メニューなし**）

【弁　　当】弁当は２０個以上から注文を受け付けます。

① 折り詰め弁当・・・・・・・・・・・７００円
② おにぎり弁当Ａ・・・・・・・・・・６２０円
③ おにぎり弁当Ｂ・・・・・・・・・・５２０円
④ しょうゆおにぎり２個セット・・・４４０円

原則、弁当の受け渡し時刻は**午前9:00以降**

※しょうゆおにぎり２個セットは２０個未満でも注文可能です。

【そ の 他】飲料、夜食（**おにぎりの提供は無し、パンのみ**）等

・原則、夜食の受け渡し時刻は 19:00 以降

※申込方法の詳細は、利用ガイドブック13・14ページ「食事申込書」 参照

費　用

（2）シーツクリーニング代

宿泊棟利用　２８０円（シーツ２枚、枕カバー１枚）

（3）体験活動

材料費・・・80円 ～ 680円（※詳細は、利用ガイドブック42ページ 参照）
講師料・・・基本５，０００円
※七宝焼・・・・・６，０００円　　天体観測・・・・７，０００円
屋台囃子・・・１５，０００円　　草木染め・・・１５，０００円

（4）キャンプファイア

１８本セット　８，６８０円
１２本セット　５，８６０円
（薪２束、灯油２ﾘｯﾄﾙ含む）

※キャンドルファイア用のろうそくの準備もあります。
大（１箱２０本）４６０円　　小（１箱８０本）３１０円

費　用

（５）支払い方法

①施設使用料（県内学校の児童生徒及び引率教職員は免除）

②食費・体験活動費・ファイア関係 ・・・・・・・・振込のみ

③シーツクリーニング代 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・振込のみ

④体験活動講師料 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・現金のみ

※ 運転手、添乗員、カメラマンは、①は免除にならず発生します。①のみ現金対応が可能なので、事前に御確認ください。また、運転手、添乗員、カメラマンは、食事方法、宿泊される部屋、名簿作成に関する事前確認を済ませておいてください。

※ 振込手数料は、御負担ください。

費　用

（6）キャンセル料

（詳細は、利用ガイドブック45ページ参照）

1　食堂利用のキャンセル料について

・キャンセル料が発生する場合

御利用7日前以降に、団体の御利用予約を、急遽取り止めにする場合

※利用者の責に帰さない事由（例：災害による通行止め等）の場合は、キャンセル料はかかりません。ただし、来所が可能な状況で団体の判断により自粛する場合は、キャンセル料が発生します。

・キャンセル料の割合

	当日の変更	１００％
利用日	前日の変更	５０％
利用日	２日前の変更	４０％
利用日	３日前の変更	３０％
利用日	７～４日前の変更	２０％

※休所日、日曜日、祝日は除きます。

※キャンセル料が発生する日数のカウントは、本所食堂が稼働していない休所日（主に月曜日）・日曜日・祝日を除いて行いますので、御注意ください。

2　その他のキャンセル料について

・施設使用料やシーツ使用料は、使用後に料金が発生しますので、キャンセル料はかかりません。

２　食数変更について

（詳細は、利用ガイドブック４６ページ参照）

食堂食	翌日の**朝食・昼食**	利用**前日の午後２時**まで
	当日の**夕食**	利用**当日の午前１０時**まで
特別食	屋外炊事・弁当・夜食・飲料・等	休所日、日曜日、祝日を除いた **利用３日前の午後２時**まで

　欠席等で食数変更が生じた場合は、上記表の時間を過ぎますと、発注済みで取り消しができず、そこまでの注文数を有料で提供することとなります。変更が生じた都度、お早めに御連絡ください。タイムラグをなくすため、**メールやFAXではなく、必ず電話にて事務室（0494-55-0014）に連絡してください。**食数を直前で大幅に変更される場合は、対応できない場合もあります。

4　施設について

主要施設の位置関係（第１駐車場からセンター棟まで）

施設配置図

⑨散策路
⑭避難小屋
⑨散策路
⑨散策路
約７００m
⑫
⑤展望広場
テントサイト
約３００m
⑰
⑯作業棟
⑬宿泊棟D
⑬宿泊棟C
⑧研修棟
飲料自販機
⑪センター棟
宿直室
ポスト
⑮ゴミ置場
⑬宿泊棟B
⑬宿泊棟A
⑩多目的広場
⑦体育館
薪小屋⑥
第２駐車場
トイレ
④広場
A
B
C
③屋外炊事場
屋外炊事用具庫
②
第１駐車場
①多目的広場

センター棟

６：００～２１：４５（２２時施錠）

ロビー

○ テレビ、ビデオデッキ、図書類、新聞
○ 椅子
○ わら細工等体験活動作品
○ 公衆電話（テレホンカード専用）
○ 台車
○ 各種パンフレット等

※ 長時間にわたって寛ぐことはしません。

会議室

○ 弁当や飲料の引き渡し場所
○ 施錠ができるので、荷物の一時保管
○ 先生方のミーティング

事務室

○ 事務室前で入所時に打合せ・退所時に会計を行います。（施設使用料のみ）
○ お困りの際は、お気軽にお声がけください。

センター棟

６：００～２１：４５（２２時施錠）

保健室

○　ベッド２台
○　応急処置薬品
○　車椅子、担架　等

※飲み薬等はございません。

ベッド２台

軽傷応急処置薬品等

※ 原則使用しません。宿泊棟の中の一室を保健室として設け、看病します。

天文台

○　４００mm天体望遠鏡を
　　使って天体観察

※　操作するには、体験活動の講師の同席、又は「天体望遠鏡操作研修会」修了者の立会いが必要

センター棟

（詳細は、新型コロナウイルスに係る受入ガイドライン2ページ参照）

食　堂

テーブル８人×２８卓、２２４席　セルフサービス

※　「日程割り振り表」割り当てられた時間とテーブル数で食事をとってください。

○　利 用 時 間
（原則４０分間）

朝食	７：００～　７：４０
昼食	１２：００～１２：４０
夕食	１７：３０～１８：１０

※人数が多くて、一度に食事が行えない場合は、前半と後半に分けることもあります。

○　配膳係を設け、複数の人が食品や道具に触れる機会を減らします。（手袋持参）

○　６～７人を目安に着席し、テーブルごとに開始し、次の利用者があるときはできるだけ早くテーブルを空けてください。配膳から片づけまで４０分が目安

○　食事の際は、「黙食」、「マスク会食」に御協力ください。

○　おかわりは、主食（パン・麺・ご飯）と汁物（味噌汁・スープ）のみ可能

※ 食堂業者が設置しておく使い捨ての手袋を着用し、利用者が個人で行う。

センター棟

浴　室

○　男女各２室、１回に３０人程度まで入浴可能です。
「かたくり」「あじさい」「やまゆり」「はぎ」

○　更衣室では、１人１つ脱衣かごを御利用ください。

○ 利用時間は、原則夕食後の
１８：００～２２：００

※「日程割り振り表」で割り振られた時間に入浴します。
※ それ以外の時間の入浴を希望される場合、事前に相談ださい。
※ ボディーソープとリンスインシャンプーを常設してあります。
※ ドライヤーはありません。必要でしたら御持参ください。
※ 運転手等の入浴時間を別に必要とする場合は、事前に御相談ください。

センター棟

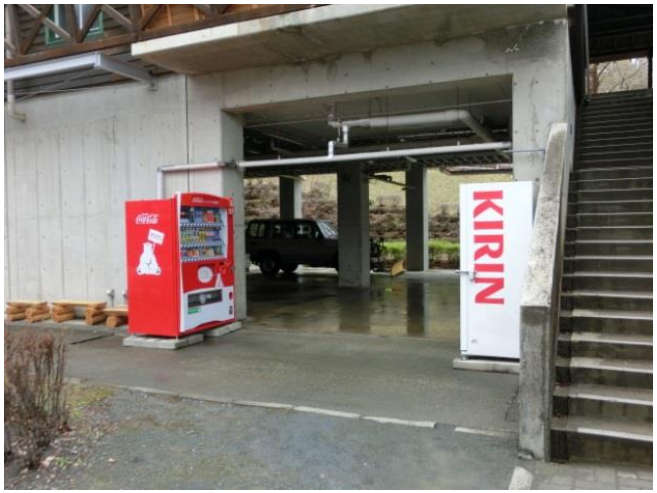
その他の設備

屋外炊事食材置き場

シーツ返却所

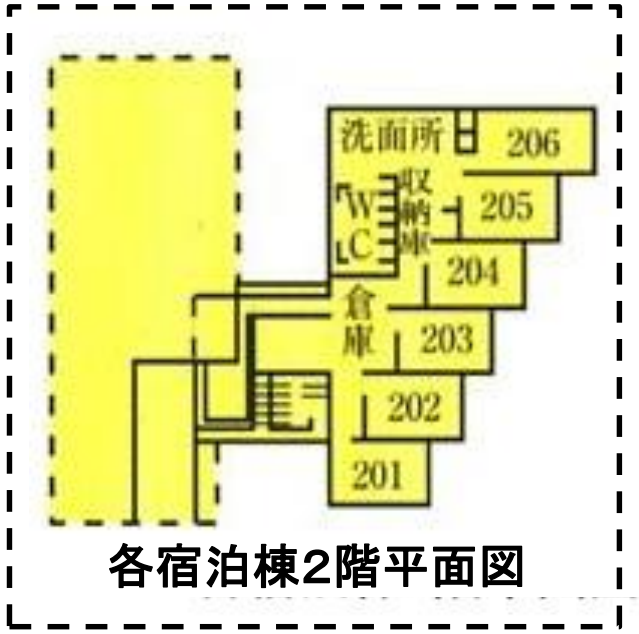
洗濯機

自動販売機



宿泊棟

- 原則、棟貸し
- 各棟　80人まで宿泊可能
- 最大320人まで宿泊可能



各宿泊棟2階平面図

宿泊棟

宿泊室

※各部屋8割程度で使用します。

４棟（Ａ棟、Ｂ棟、Ｃ棟、Ｄ棟）
各棟１００人（８人部屋１０室、１０人部屋２室）

１階	１０１～１０５	２段ベッド８人	計５０人
	１０６	和室１０人	
２階	２０１～２０５	２段ベッド８人	計５０人
	２０６	２段ベッド１０人	

引率者用宿泊室

※保健室を特設します。

Ａ棟	Ｂ棟	Ｃ棟	Ｄ棟
Ａ１　洋室４人	Ｂ１　和室４人	Ｃ１　和室４人	Ｃ１　和室４人
Ａ２　和室４人	Ｂ２　和室４人	Ｃ２　和室４人	Ｃ２　和室４人

宿泊棟

談話室

利用の目安は６０人程度

- クラス単位の活動、朝の集いなどの集会、勉強合宿、夜食等に利用します。
- 談話室のみ、飲食可能です。

炊事室

- アレルギー食対応の児童生徒の食事や食器を、保管しておくための冷蔵庫や滅菌庫があります。
- 滅菌庫内の食器を使用した後は、必ず流しで洗浄し、滅菌庫内で消毒してください。

※「伝統食作り」の体験活動は、実施不可です。

宿泊棟

リネン室

※各棟とも、104号室の隣

掃除機

洗面所・トイレ

※男女表示の切り替えが可能

※洗濯機、乾燥機がございますが、洗剤は御持参ください。

多目的トイレ

A棟のみ

研修棟

小研修室１	３人用机	５０人	
小研修室２	個人用机	５０人	
大研修室１	３人用机	１００人	２部屋に間仕切り可
大研修室２	３人用机	１００人	２部屋に間仕切り可

使用時間は、９：００～２１：００

○　大研修室１５×１１ｍ　小研修室１１×９ｍ
○　学習活動、体験活動、映画上映、集会、キャンドルファイア等に利用可能です。

体育館

使用時間　９：００～２１：００

○ 広さ　３５m×２９m
- バスケットボールコート２面
- バレーボールコート２面
- バドミントンコート６面

○ 椅子使用の場合、シートを敷きます。
○ 放送設備、ピアノ、和太鼓があります。
○ キャンドルファイア、各種球技、
レクレーション、映写会、音楽会、
講演会等で使用可能です。

※体育館シューズの着用が必須です！

作業棟

※１度に、最大３０人まで活動可能

陶芸室

七宝焼で使用

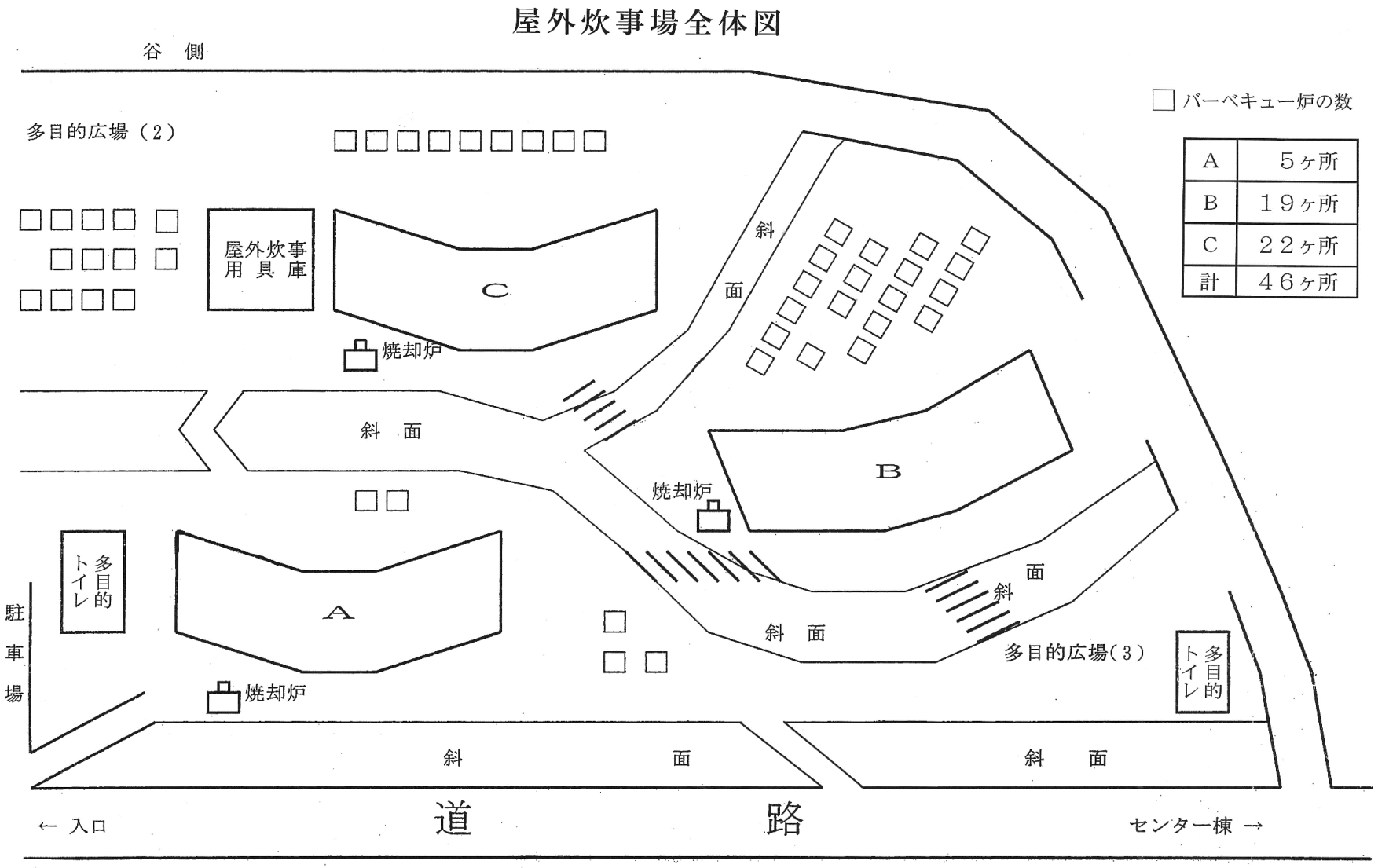
木工室

木工作・竹細工等で使用

※木工室で学習する講座は、10講座ありますが、同時進行不可。１講座まで！

屋外炊事場

３か所とも同じ造りで、128人程度の利用が望ましい。最大160人まで



屋外炊事場

Ａ・Ｂ・Ｃの３カ所ございます。
各棟同じ造りで、かまどが２８個。
テーブル１６（１テーブル８～１０人）

※軍手を持参（すべり止めのないもの）
※スポンジ、たわし、洗剤、マッチは
　持参不要　（炊事場に準備済み）

※動物の侵入を防ぐため、生ごみの片づけの徹底にご協力ください。

（1班1かまどの使用例）

（１班２かまどの使用を推奨）

カレーとご飯を1つずつ別のかまどで調理する

火起こし体験を多くの人が体験し、主体的に学習に参加できる。

飯ごうで１かまど

カレー鍋で１かまど

薪は１班４束

詳細はYouTubeチャンネルを参照

（１班１かまども可）カレーと炊飯を1つのかまどで調理する

多目的広場

原則、人数の多い団体から優先して割り振ります。

広場①

400人程度まで実施可能
４０m×８０m
夜間照明２基

広場②

100人程度まで実施可能
１６m×３０m
夜間照明

広場③

50人程度まで実施可能
１５m×１５m

全体集会
キャンプファイア
ソフトボール
サッカー
グランドゴルフ　等

その他の施設

屋外活動施設

オリエンテーリングコース

ハンターゲームコース

屋外トイレ

３カ所
①屋外炊事場Ａ
（※和式のみ）
②屋外炊事場B
③体育館外２Ｆ

※①と②は、多目的トイレを１つ備えております。

語らいの広場

利用者駐車場

第１駐車場（正面ゲート脇）
普通車４０台
大型バス１０台

第２駐車場（体育館周辺）
普通車２０台程度

※原則、第２駐車場は荷物の搬入等で使用する。

5　活動について

体験活動

引率者の監督のもと主体的に！「自主・自立」

※詳細は、利用ガイドブック４０～４２を参照ください。
※活動計画書の下の欄に記入して申し込みとなります。

○活動時間　　午　　前　　９：００～１２：００
　　午　　後　１３：００～１６：３０
　　天体観察　１９：００～２１：００
※準備・片づけを含めて概ね２時間～３時間を予定としてください。

○１講座の人数（原則３５人以内→原則以外の活動を下記に列挙）

- 「星空観測」１５人以内
- 「林業体験」１５名以内
- 「孫の手」１５人以内
- 「スーパー竹とんぼ」２０人以内
- 「草木染め」２５人以内
- 「七宝焼き」３０名以内
- **「焼き板」５０名以内**
- **「毛糸クラフト」５０名以内**

体験活動

同時に開設できる講座数

【１講座のみの体験】
- 天体観察
- 木工作、竹細工、木彫
- 表札、七宝焼、草木染め、屋台囃子、わら細工

※木工室で学習する講座は10講座ありますが、同時進行不可。

【４講座まで同時に開設できる体験】
- 伝統食作り（うどん、そば、まんじゅう、こんにゃく）

【５講座まで同時に開設できる体験】
- 林業体験（間伐、枝打ち、薪作り等）

【大人数で複数の講座が同時に開設できる体験】
- 焼き板（１講座５０人、３講座同時可能）
- 毛糸クラフト（１講座５０人、２講座同時可能）

※「わら細工」「伝統食作り」の体験活動は、実施不可です。

屋外炊事

※原則、一班６人から８人で編成してください。

※軍手を持参（すべり止めのないもの推奨）

〇食材受け渡し場所で、引率者立会いのもと、指定された時間に班ごとで食材を受け取ります。

食材受け渡し場所

〇体育館横から、炊事用の薪を１班４束運びます。

〇炊事場で担当職員の説明を聞きます。

〇炊事場Ｃにある用具庫前で食器・洗剤等を受け取り、調理開始します。

〇ゴミの処理：炊事場の中心出ているポリ容器に「生ゴミ」と「燃えるゴミ」を分別し、 終了時に収納庫にしまいます。

※夜間、野生生物に荒らされないよう、ポリ容器は必ず収納庫にしまってください！

屋外炊事

○食材

黄色いカゴに、班ごとの分量で分けてあります。他の班と混ざってしまわないように注意してください。

○かまど

残り火は、ほうきでチリトリに集め焼却炉に入れてください。割れることがありますので、**かまどには水をかけない**よう指導してください。

○食器類

食器類はよく洗い、種類ごとに青いカゴに入れ、用具庫前に返却します。

○黄色のカゴ

食材等が入っていた黄色いカゴは、元の食材受け渡し場所に返却します。残った食材や調味料がある場合は、カゴに入れたまま戻します。

ホームページ「各種資料 → しおり作成の参考資料 → 屋外炊事の使い方.pdf

屋外炊事が終わったら

食材受け渡し場所に
お戻しください。

屋外炊事場Cに
お戻しください。

食器・道具はそれぞれ
種類ごとに分けて返してください。

キャンプファイア

○薪本数を確認します。
　準備の際は、事務室職員へお声かけ
　ください。

○薪を組みます。

○トーチ棒は、各団体で準備します。

○灯油２ﾘｯﾄﾙ、バケツ、音響設備等は事務室
　で貸し出しがございます。

○雨天の対応
　雨の心配がある場合、事務室からブルーシート
　を借り、セットが完了した薪にかけておきます。
　実施できなかった場合、翌朝薪を返却します。

※薪に火を付けなければ、料金は発生しません。

**※ 運動部の予約がある場合は、体育館でのキャンドル
　ファイアは実施できません。（大研修室1で実施）**

詳細はYouTubeチャンネルを参照

キャンプファイア

〇キャンプファイア中
　薪の燃え残りが少なくなるまで上手に燃やしましょう。
　ファイアキーパーが火の調節等をしていただくと上手に燃やせます。
〇片付け
　少なくなった燃え残りに鉄製のフードをかぶせる。
　周囲にＬ字の枠を置きます。
〇翌朝、鉄製のフードと枠を元の場所に戻します。
　灰等をきれいに取り除 き、焼却炉（ドラム缶）に入れます。

※清掃道具は、各広場流し場の近くに置いてあるものを御利用ください。

大滝げんきプラザ 生活の合言葉

「時・場・礼」

6　生活について

宿泊棟でのお願い

宿泊・寝具

宿泊棟への入室は、原則として１３：００以降
入室後、毛布や布団の元の状態を 確認しておく
退所の時、同じように整理整頓をお願いします。

整頓された寝具

① １０４号室隣のリネン室から、一人シーツ２枚と枕カバー１枚を配ります。

② ベッドメーキングは、部屋入口のパネルを参考に行います。シーツとシーツの間に寝ます。

③ シーツの返却は、退所日の９：００までに各部屋で１枚のシーツに包み、風呂場下のシーツ返却の袋に入れます。

④ 退室時には掃除し、ベッドの所のパネルを参考に毛布・布団等の整理整頓を行います。

シーツ返却所

宿泊棟でのお願い

清　　掃

① 退所する日の朝、通路にある掃除機で室内を清掃します。ベッド下も清掃します。特にベッドの中は、忘れ物がないよう必ず確認してください。

清掃用掃除機

② **チェックシートをもとに、室内と共有使用部分を消毒します。**

③ 持ち込んだものから出たゴミは、原則お持ち帰りいただきます。食堂で購入したものから出たゴミについては、食堂が準備したゴミ袋をお渡しいたしますので、まとめていただき食堂または事務室にお持ちください。

④ ８時45分までに引率者がチェックシートを用いて、清掃・消毒が済んでいるかチェックし、８時４５分から職員立会いの下、部屋点検を実施します。

トイレ・洗面等

① 宿泊棟のトイレは、１階・２階共に同じ構造（男女共同トイレ）
② トイレ内の電気は感知式で自動で点消灯しますが、手洗い場の電気は手動です。
③ 節電・節水にご協力ください。
④ 洗濯機と乾燥機がございますが、洗剤は御持参ください。

宿泊棟

※ 退所時にチェックシートをもとに、不特定多数が触れる箇所を消毒をしていただきます。

宿泊棟でのお願い

飲　　食

① 宿泊棟では、談話室のみ食事が可能です。

② 宿泊棟内は禁煙
喫煙場所は所内の掲示で御確認ください。

談話室

部屋の鍵

① 宿泊棟を離れて活動する場合、玄関ドアを施錠します。

② 部屋の鍵は、退所日の９：００までに事務室に返却します。
（退所時は、部屋と玄関の鍵はかけないで開けておきます。）

食事・入浴でのお願い

食　事

① 利用開始の５分前に御集合ください。
② 食事の開始時刻、終了時刻を守ってください。
③ **給食当番を設け、流れ作業で配膳をします。**
④ テーブルごとに「ごちそうさま」をして、**片づけは個人で、返却所へ運びます。**
⑤ おかわりは、主食と汁物だけです。**主食類はビニール手袋を付け、スープ類は手指消毒をして、感染予防を徹底**し、残食を残さない分だけおかわりしましょう。

※ 感染予防対策のため、学校でビニール手袋を用意しします。

入　浴

① 事故防止のため、子どもだけにならないよう見届けをお願いします。
② 日程割り振り表の入浴時間を守り、次の団体に支障がないようにしましょう。
③ 風呂から上がる際、止水、椅子・桶の整理整頓を行うようご指導ください。（脱衣所の写真を参考に）

※最後に見届けをお願いします。

食事のアレルギー対応について

①**対応食、除去食**について本所の食堂では**対応していません。**（屋外炊事「カレーライスづくり」のみ27品目対応食）

②希望があった学校には、**利用2～3週間前**に、業者から直接学校へ成分表をFAX送信します。

※成分表を見て、食べられるもの、食べられないものを判断し、**引率者の見守りのもと**食事をとります。

③**過度なアレルギーの場合**は、家庭で調理したものを冷凍して持参するか、レトルト食品を持参する等お願いします。（談話室の冷蔵庫に保管が可能）

※**対応食を所外から持ち込む場合は、原則、滞在期間中全ての食事分を用意し、お持ちください。**

※食堂の電子レンジ等で温める対応をさせていただきます。

②③を希望される場合は、食事申込書の所定欄に☑を入れてください。

その他のお願い

①安全・盗難防止のため、他の施設を利用する時間帯は、棟または部屋の施錠をお願いします。

②駐車場は、正門付近と体育館周辺を御利用ください。大型車両は、必ず正門付近の駐車場へ停めてください。荷物の運搬で、ロビー前まで乗り入れを希望される場合は、他の団体の動向により希望に添えない場合がありますので、御相談ください。

③センター棟と正門は、２２：００に施錠します。緊急時は、２２：００までは事務室へ、それ以後は体育館前の宿直室へ御連絡ください。

④公衆電話は、センター棟ロビーにございます。テレホンカードのみのご使用となります。テレホンカードは事務室で１枚５００円で購入可能です。

その他のお願い

⑤原則所内は全面禁煙です。ただし、限られた場所でのみ例外として喫煙を認めています。喫煙場所については所内掲示物で御確認いただき、厳守してください。

⑥救急車は、到着までに約４０分かります。また、市内の大きな病院まで、乗用車で約１時間かかります。

⑦施設・設備、備品を大切に使用するよう御指導ください。
（元あった場所へ・元あったように）

⑧入所式・退所式を行う場合は、事前に御相談ください。

⑨花火は手持ち花火のみ許可します。（山火事防止のため）

⑩本所コピー機は事務用のため、使用できません。

⑪気象情報を知りたい方は、センター棟事務室前までお声掛けください。

ご清聴、ありがとうございました。

埼玉県立大滝げんきプラザ